村上新聞7/13号

村上新聞
毎週土曜日発行（ただし第5土曜日を除く） 2024年（令和6年）7月13日 第2,009号

雨天回避、ユネスコ文化遺産効果も

来場9万人「村上大祭」にぎわう

国の重要無形民俗文化財で西奈彌羽黒神社の例大祭「村上大祭」が6日、7日に行われた。天候に恵まれたことと、「村上祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産へ「山・鉾・屋台行事」へ追加登録される話題しが立ったこともあり、市内外から昨年より5割増の9万人の来場者が訪れ、市内は祭り一色に包まれた。

午前8時花火と同時におしゃぎり巡行がはじまった

村上市スペシャルアンバサダーの本間日陽さんも参加した

村上大祭は1633（寛永10）年6月7日、村上藩主が羽黒町神社を城から見下ろすのは恐れ多いとして、臥牛山の中腹から現在の場所へ移したこと（遷座）を祝い、大町の住民が大八車に太鼓を積んで町中を練り歩いたのが始まりとされており、村上城下最大のイベントとして391年の節目を迎えた。

7日の午前8時、花火の合図とともに先導する先太鼓が出発。笠鉾、荒馬、稚児、巫女、神輿、神馬と続き、同神社前に集合した唐楽や金箔などで施された絢爛豪華な18台（大工町は修理のため欠場）の祭り屋台が次々に出発し城下を練り歩いた。今年も「海山企画」が屋台巡行の様子をインターネット配信。村上大応援団長のイヨボヤマンがMCを務めた。村上市スペシャルアンバサダーの本間日陽さんをゲストに迎え18町内の祭り屋台を紹介しながら大祭を盛り上げた。

おしゃぎり体験に参加した子どもたち

村上大祭について話し合った

JC新潟ブロック協 グループワークやおしゃぎり体験

村上まつり保存会の渡辺明会長は「ユネスコ無形文化遺産への追加登録も決まった。先人たちが築いてきた伝統の祭りをみんなで守っていきたい」と話していた。

JC新潟ブロック協議会が「共に育む体験・郷育事業」の文化体験として、宵祭りの6日に、村上大祭について学ぶグループワークやおしゃぎり引き回しを体験。県内各地から参加した14組30人（小学4年～6年と保護者）が村上大祭を通して伝統行事の魅力や伝承の大切さなどを学んだ。

社会を明るくする運動

犯罪や非行防止地域の力で
坂町駅では「街頭啓発運動」

村上市本庁で先月19日、第74回「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～の村上岩船地区推進委員会（高橋邦芳委員長）が開かれた。

この運動は「国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りを

進委員会

解を深め、力を合わせ、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動。

当日は、関係者約40人が参加し、昨年度の実施結果報告と今年度の活動計画を発表。阿部博村上警察署長からは「今年は5月末現在で刑法犯認知件数が90件、前年比26件増加している。近年、少年が闇バイトに手を染めるケースが多くなっている。犯罪のない社会の実現のため引き続き皆様からの支援をお願いしたい」とあいさつ。参加者らは、「犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことのできる明るい地域社会を築くこと。犯罪や非行をした人が再

貸ふとん やま伝 (53)2623

お葬式・仏壇・墓石 會津屋 ☎(0254)52-1101

タクシーの御用命は 瀬波タクシー ☎53-2187

AEON 木を植えています 私たちはイオンです イオン村上東店 0254-53-7200 村上市仲間町200

村上新聞
2024年(令和6年) 7月13日(土)
(発行所)
〒958－0842
村上市大町2番11号
株式会社 村上新聞社
TEL 0254(53)1409
FAX 0254(53)6088
URL http://m-news.jp
MAIL info@m-news.jp
郵便振替口座 00620-1-12753
(印刷所)
〒958－0823
村上市仲間町491－32
村上印刷株式会社

いわふね新聞7/14号

（週刊） サンデー いわふね
購読料1カ月1,100円（消費税を含む） 2024年（令和6年）7月14日（日曜日）

松波町で住居のすぐ近くまで侵入（目撃者提供）

山北地区でわなにかかったクマ（市提供）

クマの出没・目撃情報が後を絶たない。5月31日には阿賀町で人身被害も発生したことから、県は「クマ出没警戒注意報」を発令、圏域でも警戒が呼び掛けられている。

ことし4月から6月13日までの間、村上市内におけるツキノワグマの取除数は4頭、目撃情報数は14件。同時期の目撃情報は8件、22年が8件、同21年が5件、2016年が15件。ことしの傾向としては林道や山間地より人里での目撃情報が多く、居住地まで躊躇なく足を伸ばしてくるという今までになかった事例もあり、猟友会も頭を悩ませているという。

村上市山北支所産業建設課・森山治人課長によると、目撃・捕獲されたクマの個体は親離れして間もない若い個体が多く、また目撃・捕獲されているクマは概ね120キログラムくらいの大きさであれば通常その大きさであれば体重は100キロ前後だが、市内で捕獲された熊は60キロほどと痩せている個体が多いという。

クマの冬眠も遅く、また冬眠が明けるのが早かった傾向にあるとし、「クマの目撃情報が多いのは気候変動や異常気象の影響

JCが県内小学生招き

屋台引き廻し体験
伝統・熱気ひしひし
村上大祭 宵祭で

村上大祭宵祭りの6日。寺町、安良町、肴町の屋台引き廻しに村上市外の小学生が参加し、祭りの熱気を肌で感じた。子どもたちに県内の魅力や地域交流に触れてもらう文化体験事業。大祭の魅力に触れ、その将来についても思いを巡らせた。

5月に糸魚川市で開催され、8月には加茂市でも開催が予定される「KIDS体験！ にいがた魅力キャンパス」。日本青年会議所の北陸信越地区新潟ブロック協議会が主催する初の事業。

学びの主体となる4・6年生が約15人。保護者やきょうだいほか青年会議所関係者約20人をあわせ総勢約50人が集まった。新潟市や新発田市など市外下越地区からの参加が中心となった。

3班に分かれての引き廻し参加は約1時間で、一部班では休憩時に屋台への搭乗も体験。本番の活気をたっぷりと味わった。肴町の小川悦男区長（会長）は「村上は初めてとの声もあった。直に感じた魅力をおのおのが紹介してもらい、他地域に広がる機会となれば」とした。

振り返りの活動では、同年代の子どもたちの活躍ぶりや「屋台からぎしぎしと音がするのに壊れないのはなぜか」等と関心を寄せ、魅力のPR法や後継者問題など将来に向けた目線でアイデアを

大祭の熱気を体験

心も出てきた」とし「とても楽しい体験ができた」と頬をゆるめた。

活用しながら景

村上 風致形成建造

歴史的な町並みの形成に寄与する村上市の歴史的風致形成建造物に今年度、新たに①伊勢神明社

（社殿
＝小
神（
＝③

22年8
乗り越え
いる新潟
川町支店
の新店舗
川支店」
ープンを

地域

役割分担、ICT活用さらに
坂町病院 活性協が今年度総会

医療圏の村上市、関川村、胎内市の首長や商議所・商工会、議会議員らで作る、県立坂町病院活性化協議会の今年度総会が1日に荒川地区公民館で開かれた。例年10月末に開催する促進大会を中心とする事業計画案を承認した。

総会では牧野邦比古院長が、今年度から27年度まで定める経営強化計画期間における同病院の方向性等について報告した。

段階的に病床再編を行い、22年には48床となった地域包括ケア病床（急性期後等患者の在宅復帰を支援）については、新発田病院の後方支援を担う役割など転換意義の説明も加え「有効活用と稼働率上昇を目指す」としている。ほか「軽症～中等症の救急医療は維持の上、入院診療の軸足を急性期から亜急性期・回復期へ移す」「訪問診療の充実と、回復期から訪問

診療移行
る」等と
医療間や
携効率化
強化する

あいさ
高橋邦芳
は、県内
後のあり
に触れ、
療再編も
すべき方
いる。心
らいたい
つ、引き
びかけた